

SPAC文芸部横山義志氏による特別講義

タモリはなぜミュージカルが 嫌いなのか？

～西洋演技理論史における音楽性とアジア的身体～

2017年12月6日(水)

2時限目 10:40～12:10

一般教育棟2217教室

公益財団法人静岡県舞台芸術センター(Shizuoka Performing Arts Center : SPAC)は、グランシップ内と日本平の舞台芸術公園にある専用の劇場を拠点として俳優・技術・制作スタッフが創造活動を行い、国内外の優れた芸術家や劇団の紹介、若手芸術家の育成を目指す公立の文化事業団です。今回は、特別にSPAC文芸部の横山さんをお招きして、「歌と踊りのない演劇はどのように成立したのか？」や「アジアにおける「近代劇」と「世俗的語り」の論理」などについて語っていただきます。演劇好きの人もそうでない人も演劇の見方が変わる講演になると思います。興味ある方はぜひご参加ください。

※本公演は「ヨーロッパ文学論ⅢB」の授業の一環としておこなわれます。

【横山義志氏のプロフィール】

1977年千葉市生まれ。2000年にフランス留学後、2007年に静岡に移住し、SPAC—静岡県舞台芸術センター制作部に配属。2009年に文芸部へと転属。以来、主に海外招聘プログラム(毎年開催される国際演劇祭のための調査・演目提案や、海外のアーティスト・劇場とのやりとりなど)を担当。これまで二十数カ国の演劇祭を視察。演劇学博士(パリ第10大学)、学習院大学非常勤講師。専門は西洋演技理論史。論文に「アリストテレスの演技論 非音楽劇の理論的起源」、訳書にジョエル・ポムラ『時の商人』など。

※駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

お問合せ：

経営情報学部経営情報学科 上野 雄史

E-mail : ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp

国際関係学部国際言語文化学科 浅間 哲平

E-mail : asama@u-shizuoka-ken.ac.jp

